

スクリーニングの手順

記載の有無
表紙に反映されます

あり

病院名: 大阪鉄道病院

期間: 平成26年9月1日現在

スクリーニングの項目、対象、方法、タイミング、スクリーニングした結果の確認者、スクリーニング結果の活用方法等についてご記載ください。

役職等に個人名が記載されていないことをご確認ください。

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙15とした電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

あり

(あり・なし)

ファイル形式

ワード

(ワード、一太郎、リッチテキスト、エクセル、パワーポイント、PDF、その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

外来スクリーニング手順

「生活のしやすさに関する質問票」運用方法

【目的】

がん患者の抱えている身体的、精神心理的苦痛のスクリーニングを行い、患者が抱えている心配事や苦痛を把握し、それらを早期に緩和する。

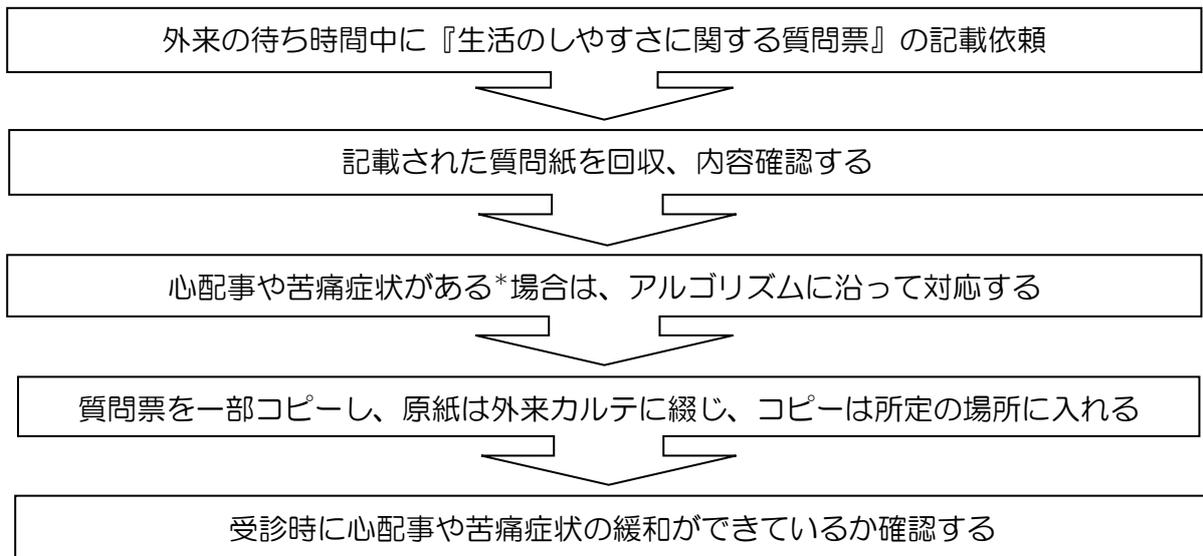
【対象】

- がんと診断されている患者
 - * 化学療法センターに通院中の患者全員

【実施場所】

- 当面は化学療法センター
 - * 状況を見ながら実施場所を拡大予定。

【使用方法】



<緩和ケア委員会>

- コピーされた質問紙を緩和ケア委員会メンバーが回収する。(1回/週)
- 介入要の患者の情報収集と経過確認を行う。
- 回収した質問紙と経過についてデータ収集する。

*判断基準

以下の項目に当てはまる場合は、対応が必要になります。

- ①『気になっていること、心配なこと』の項目で‘あり’にチェックがついた場合。
- ②『体の症状の程度』1項目でも2以上になった場合。
- ③『気持ちのつらさ』4以上かつ『生活の支障』3以上になった場合。

症状	なし	現在の治療に満足している	それほどひどくないが方法があるなら考えで欲しい	我慢できない症状がしばしばあり増悪して欲しい	我慢できない症状がずっと強い
痛み	0	1	2	3	4
しびれ	0	1	2	3	4
だるさ	0	1	2	3	4
息切れ	0	1	2	3	4
食欲不振	0	1	2	3	4
吐き気	0	1	2	3	4
便秘	0	1	2	3	4
脱力	0	1	2	3	4
その他	0	1	2	3	4
()	0	1	2	3	4

入院スクリーニング手順

「緩和ケアチェックシート」運用方法

目的：緩和ケアの成果とケアの質の高さを客観的に評価し、患者とその家族の QOL の向上に繋げる。

対象：緩和ケアが必要ながん患者（何らかの問題が生じているがん患者）

注）当面の間は、現在まで緩和ケアチェックシート（以下シート）を記載していたがん患者に記載する。

シート種類：①②両面、③片面、④⑤両面の 3 枚

①病名・病状説明 ②不安・病状認識・コミュニケーション・症状の評価
③出現した症状と緩和ケア ④評価基準 ⑤薬剤一覧表

留意点：○ ①②シートは 4 回入院まで使用可能。

○ ③は 1 入院 1 枚使用。

使用方法：受け持ち看護師を中心に、緩和ケアの必要性を検討。 → No(シート不要)

Yes

主治医に確認し、シート①②③を記入する。

①は必要時追加記入する。
②③は 2 週間に一回または変化があったときに記入する。

②の評価表で 3・4 の評価がいたら緩和ケアチームに相談依頼
(緩和ケアチームコンサルテーションシートを活用)

転帰時：○退院日を入力し、①②は 3 部、③は 1 部を印刷する。
用紙は入院カルテ、外来カルテ、委員会提出に分けて処理する。

*印刷した用紙は以下の方法で処理を行う。

- 外来カルテ：①②をクリアファイル入れて外来カルテの最後に綴じる。
外来カルテの表紙右肩に鉛筆で 緩 と記入する。
- 入院カルテ：①②③を綴じる。
- 緩和ケア委員会：①②を提出する。